

農林水産振興財団の沿革

平成 3年3月 (財)東京都農林水産業後継者育成財団と(社)東京都野菜価格安定資金協会とを発展的に解消し、本財団を設立した。

平成 3年6月 農地保有合理化法人として指定された。

平成 6年4月 東京都有機農業堆肥センター事業を開始した。

平成 8年4月 東京都青年農業者育成センターに指定された。

平成10年4月 (財)東京都森林整備公社と統合した。
東京都林業労働力確保支援センター、都道府県緑化推進委員会として指定された。

平成14年4月 栽培漁業センター事業が、島しょ振興公社から移管された。
都行造林管理事業を都から受託した。

平成15年4月 東京都肉用子牛価格安定基金協会として指定された。

平成16年4月 奥多摩さかな養殖センター事業を都から受託した。

平成17年4月 東京都農林総合研究センターを設置し、都から試験研究事業を受託した。

平成18年4月 東京都食品技術センター事業を指定管理者として受託した。

平成22年4月 公益財団法人へ移行した。

平成25年4月 チャレンジ農業支援センターを開設した。

東京農業イノベーションプロジェクトを開始した。

平成26年6月 多摩産材情報センターを開設した。